

キリストのからだの——幕屋で予表される三一の神における——

聖書：出 26:15, 24, 26-29. ヨハネ 17:21-23. エペソ 4:2-3

- I. 主がヨハネ第 17 章で祈った一は、出エジプト記第 26 章における幕屋で予表される一です。幕屋の四十八枚の枠板は、共に建造されて神の住まいとなった信者たちを予表しています。ですから、幕屋は三一の神における一の明確な絵です。
- II. 三一の神における一の第一の面は、三つの金の環に見られます（結合する横木の連なる所）。この三つの金の環は初めの霊、すなわち再生し証印を押す霊、復活における三一の神のすべてを含む霊を表徴し、信者たちを結合するためです—— 15, 24, 29 節. ヨハネ 3:6. エペソ 1:13. 4:3, 30. 参照、創 24:22. ルカ 15:22。
- III. 三一の神における一の第二の面は、金（神と神聖な性質を表徴する）で枠板（信者たちと人の性質を表徴する）を覆うことに見られます——出 26:29：
- A. 幕屋の枠板の一はアカシア材にあったのではなく、木を覆う金にありました。これが描写しているのは、召会の中の一がわたしたちの人性にあるのではなく、神聖な性質を伴う三一の神にあるということです——ヨハネ 17:21。
- B. 枠板の一は、金（神を表徴する）の中だけでなく、金の輝きまた表現（神の栄光を表徴する）の中にもありました。今日わたしたちの一は三一の神の中に、また彼の栄光、輝き、表現の中にあります—— 22-24 節。
- C. 初めの霊、すなわち、金で予表される三一の神は、その霊の一です（エペソ 4:3）。覆う金は、実は一の拡大です：
1. わたしたちは金で覆われれば覆われるほど、ますます一を持ちます。わたしたちは神を持てば持つほど、わたしたちの一はますます強くなります——参照、コロサイ 2:19。
 2. わたしたちは金で覆われるのではなく、単に金でめっきされているだけであるかもしれません。それは啓示録第 17 章 4 節にある大いなるバビロンのようにです。わたしたちが持っている金の量は、わたしたちを真の一の中に保つのに十分でないかもしれません。
 3. 枠板は十分に金で覆われてはじめて、成就されて一となりました。これは、成就されて一となることが、神をさらに多く得ることであることを示します——ヨハネ 17:23。
- D. 「十分な量の神を持っていないことが、一についての重大な問題を造り出し得ます。主の回復は運動ではありません。わたしたちは多くの人を得ることを願っていません。回復の中でわたしたちは金の真の重さに関心があります。重要な質問はこうです：『あなたはどれほどの神を持っているでし

ようか?』。主の回復は、神が彼の回復された民をご自身で覆うことにかかっています」(真理メッセージ, 第9章)。

E. 一は、わたしたちが三一の神の中へと深く浸し込まれて、完全に金で覆われるに至るといふ事柄です。わたしたちの問題は、わたしたちが神に欠けていることであり、わたしたちの必要は彼をさらに得ることです——コロサイ 2:19. ピリピ 3:8 後半:

1. あらゆることは、わたしたちがどれほど多く金を持っているかにかかっています。もしわたしたちが金に欠けるなら、みな異議を唱える者になる可能性があります。
2. 今日、主はこの真の一を必要としています。もしわたしたちがこの一を持たないなら、回復の中で前進することはできません。
3. この確実で、真実な一の中に保たれる唯一の道は、十分な量の経験された神を持つことです——10 節。

F. 神の金の性質は決してわたしたちの墮落した性質を覆うことはなく、アカシア材で表徴される、わたしたちの再生され造り変えられた性質だけを覆います:

1. 金の覆うことは、この造り変えと同時に起こります。造り変えがあるところではどこでも、金の覆うこともあります。
2. 造り変えは、わたしたちが主を愛すること、彼に触れること、彼の言葉に聞き入ること、彼に祈ること、霊にしたがって歩くことにかかっています。わたしたちはこの五つの事を持っている限り、キリストを生きています——ローマ 8:4. ピリピ 1:19-21 前半。
3. わたしたちがみな造り変えられ、金で覆われてはじめて、わたしたちの間で異議を唱えるという可能性はもはやありません。唯一の保護は金で覆われることです——II コリント 3:18. ローマ 12:2。

IV. 三一の神における一の第三の面は、結合する横木に見られます。それは四十八枚の枳板を共に結合し、一となさせます。この結合する横木は、初めの霊が結合する霊となって、キリストのすべての肢体を結び付けて一つからだとすることを表徴します——出 26:26-29. エペソ 4:3:

- A. 結合する横木はアカシア材で造られ、それは結び付ける力のためでした。また金で覆われ、それは結合するためでした。横木がアカシア材で造られたことは、その霊の一がキリストの神性と関係があるだけでなく、彼の人性とも関係があることを示します——参照、2 節, フットノート 1。
- B. 実際において、結合する横木は単に聖霊を表徴するのではなく、わたしたちの人の霊とミングリングされた聖霊を表徴します (ローマ 8:16)。すなわち、神性と人性の両方を含むミングリングされた霊です。
- C. 幕屋の枳板の結合は、横木がそれぞれの枳板にある環を通過して、枳板を

共に結び付けることと関係があります。これが表徴するのは、信者たちの霊がその霊と協力し、こうして結合する霊に彼らを通過させて、彼らを他の信者たちと結び付けるとき、キリストにある信者たちが結合されるということです。

- D. 結合する霊がわたしたちを通過し、こうしてわたしたちを他の人と結び付けるために、わたしたちは十字架を受け入れる必要があります。なぜなら、結合する霊は常に杵板を横切るからです——マタイ 16:24 :
1. その霊はわたしたちを十字架にもたらし、十字架はその霊によって適用され、十字架はその霊をさらに多くもたらしめます——出 30:22-25. ペリピ 1:19 :
 - a. 十字架につけられたキリストの霊は、常にわたしたちを十字架にもたらし、わたしたちをキリストの死に同形化し、十字架はその霊によって適用されます—— I コリント 1:23. 2:2. ガラテヤ 5:22-24. ペリピ 3:10. ローマ 8:13.
 - b. キリストの十字架に対する経験は、満ちあふれる命の霊をもたらしめます——ガラテヤ 2:20. ヨハネ 12:24。
 2. わたしたちの霊（わたしたちの思い、意志、感情を伴う）が横切る霊と協力することによって、わたしたちは結合されて一となります。わたしたちの霊が横切る霊と一になるときはいつも、わたしたちは結合する霊を経験します。
 3. 初めの霊は、わたしたちの内側で結合する霊とならなければなりません。その時わたしたちは一と建造を持ち、異議を唱えることと分裂から守られます。